

## 令和6年度第4回 聖籠町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議 議事要旨

日 時 令和6年11月22日(金) 14:00~16:00  
場 所 聖籠町役場3階 大会議室  
出席委員 鷺見委員(会長)、伊藤委員、笠井委員、齋藤委員、佐藤委員、高橋委員、手嶋委員、中林委員、中村委員、夏井委員、二宮委員、宮澤委員  
事務局 総合政策課:高橋課長、小林課長補佐、井上主任、宮森主事  
関係課 萩原総務課長、高橋生活環境課長、新保町民課長、渡邊保健福祉課長、齋藤長寿支援課長、小野産業観光課長、ふるさと整備課 大野副参事、佐藤子ども教育課長、須貝教育未来課長、宮澤社会教育課長、東港振興室 小林係長

- 次 第
- 1 開 会
  - 2 議 事
    - (1) 第3期総合戦略の構成について
    - (2) 具体的な施策、KPIの検討について
      - ・基本目標1:しごとづくり
      - ・基本目標2:結婚・出産・子育て
  - 3 閉 会

---

### 議事要旨

#### 議事(1) 第3期総合戦略の構成について

○ 事務局から資料1「第3期総合戦略の構成について」に沿って説明

委 員 しごとづくりの「施策④事業創造の促進」について、現状での年間の創業件数は把握しているか?

産業観光課長 町に相談があつて創業した件数として、昨年度は4件である。町では様々な支援を行っているが、全ての創業者がその支援を活用するわけではないため、町で把握できていない件数もあるものと思われる。

委 員 町全体での件数を把握できるよう工夫していただきたい。

産業観光課長 町商工会に加盟している中小企業等については、商工会経由である程度把握できると思われる。

#### 議事(2) 具体的な施策、KPIの検討について

##### 【基本目標1:しごとづくり】

○ 事務局から資料2「基本目標1:しごとづくり」に係る施策一覧に沿って説明

**委員** 若者の新規就農促進に向けては、農業従事者が経験的に分かっているノウハウ・技術の継承が一つの課題であり、ビッグデータやAIを活用した取組を検討していただきたい。当方からも情報提供可能である。

また、創業促進を進めていく中で、他自治体と同じ取組だけではなく、例えばコンテスト形式のイベントによりモチベーションの向上につながる場をつくるなど、全国の中から聖籠町を選んでもらえるような仕掛けを検討していただきたい。

**委員** 新規就農促進に向けて、近隣の大学等との連携も効果的と考える。

**産業観光課長** 農業、創業促進いずれの分野においても町独自の取組はできていないのが現状であり、特色のある取組を実施できるよう検討していきたい。

**委員** 単なる創業支援にとどまらず、創業から生業・定住につながっていくような町独自の支援策があると良いと感じる。

**委員** しごとづくりの施策一つ一つは良い方向性であると思うが、それぞれの取組で連携する機会が少ないように感じる。農業や観光などの施策間で連携して町の魅力を高めていくために、一つにまとめられるきっかけ、枠組みのようなものがあると良いと考える。

**産業観光課長** 「アルビレッジを拠点とした地域活性化の推進」における農業、商業、観光との連携など、今後の施策展開の中で実現できるよう対応していきたい。

**会長** 「ほ場整備を契機とした新たな営農体系の構築」のKPI「担い手集積率」について、ゴールがスマート農業を含めた農業の効率化・省力化ということであれば、それを見据えたKPIの設定となるよう検討いただきたい。

## 【基本目標2：結婚・出産・子育て】

- 事務局から資料3「基本目標2：結婚・出産・子育て」に係る施策一覧に沿って説明

**会長** 「施策③子育て世帯の経済的負担の軽減」のKPI設定に当たり、少子化の影響を踏まえ91%を乗じた旨の説明があったが、この割合は今後5年間における0～4歳の子ども数が91%になるという理解でよいか？

**事務局** 人口ビジョンの推計値により、2023年から2030年比較で19歳以下の子どもの人口の変化率（2030子ども人口／2020子ども人口）を算出したものである。なお、人口ビジョンの推計データの都合上、年齢区分は5歳刻みとなる。

**会 長** 出産時の祝い金で考えれば 0～4 歳の人口により算出しても良いと思うが、子ども医療費助成の対象年齢が 18 歳未満であることも踏まえ、網羅するような形で 0～19 歳で算出しているということか？

**事務局** ご認識のとおりである。

**委 員** 「結婚の希望をかなえるためのライフデザイン・婚活支援事業の推進」について、この事業は定住自立圏として新発田・胎内・聖籠の連携により実施しているという説明であったが、聖籠町からの参加者数、及びイベントをきっかけとした町への移住者数を教えていただきたい。

**事務局** 聖籠町の人口は 3 市町の中で最も少ないこともあり、聖籠町民の参加はイベント 1 回当たり 1～2 人程度と少ない状況である。今年度事業では、参加した町民でカップル成立となった方もいた。

**委 員** 年齢制限はあるのか？

**事務局** イベントによって設定している状況で、最近では年 2 回開催のうち、1 回は概ね 20～30 代、もう 1 回は概ね 30～40 代という形で実施している。

**委 員** 「放課後子ども教室の運営」について、令和 6 年度までの試行期間における課題はなにか？

**教育未来課長** 試行期間において改善を進めてきた中で、概ねの運営体制が構築できており、関係者の合意形成も図られている。なお、支援員については、ボランティア又は直接雇用のいずれとすべきか、検討しているところである。

**委 員** ボランティアの支援員の質について、不安視するような声も聞かれる。子どもの特性に応じた適切な対応ができるよう、支援員の体制について方針を伺いたい。

**教育未来課長** ボランティアをお願いするに当たっては、教育委員会により、あらかじめ面談を行っている。また、現場での困りごと、問題等については、教育委員会も介入して解決を図っている。

今後については、例えば教員経験者のような方を統括的な役割として各所に配置できる体制を構築するなどを含め、検討していきたい。

**委 員** 以前に、アルビレッジにおいてサッカーを通じた婚活イベントを実施していたが、「アルビレッジを拠点とした地域活性化の推進」の展開に応じて、復活させてもよいかと考える。

**会 長** 婚活事業のターゲットとなる結婚したいと思っている若者に対しては、デジタル媒体を活用しながら情報発信できているのか？

**事務局** 広報誌及びホームページへの掲載のほか、町公式 SNS の LINE・X での配信、委託事業者によるインスタグラムの広告配信等を行っている。

**会 長** 参加者がどういったツール、媒体から情報を入手しているかについて調査しているか？

**事務局** イベント参加者へのアンケートにより調査、集計しており、昨年度までの実績では、市町の広報誌やホームページ、委託事業者のホームページが多い状況である。今年度から実施しているインスタグラム配信の効果はこれから検証する。

**委 員** 婚活事業における平均カップル率 46%という数字は驚異的である。広報に当たって積極的に PR した方がよいと考える。